



まちなかにある様々な地域資源をアートでむすび、
東京の多様な魅力を創造・発信する市民参加型アートプロジェクト
「東京アートポイント計画」
プログラムのご案内

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が実施する「東京文化発信プロジェクト」では、地域・市民が主体となり行うアートプロジェクトを通じて東京の多様な魅力を創造・発信する「東京アートポイント計画」を展開しています。

6 年目を迎える今年度は、継続実施している「TERATOTERA」や「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」などとともに、8 つの新規プロジェクトを開始し、取り組んでいます。また、アートプロジェクトを実践する人材を育成する「Tokyo Art Research Lab」を 3331 Arts Chiyoda 内の東京文化発信プロジェクト ROOM302 を拠点に実施しています。

■プロジェクトも佳境へ 様々な地域で文化創造拠点を創出

12 月となり、今年度の各プロジェクトの取組も佳境に入ってきました。それぞれの文化創造拠点でバラエティ豊かなプログラムを予定しています。新たなアート、新たな音楽、そして新たな市民の交流の場に出合える「東京アートポイント計画」のプログラムにぜひご参加ください。

各プログラムの詳細や最新情報は、ウェブサイト [[http:// www. bh-project. jp](http://www.bh-project.jp)] にてご確認ください。

※やむを得ない事情により内容が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

○としまアートステーション構想

「としまアートステーション Y」開設

豊島区を舞台に、既存の施設等を活用し多様な人々が主体的にアート活動に取り組めるよう、“アートを生み出す小さな拠点＝アートステーション”を創出し活動しています。雑司が谷のとしまアートステーション Z ではセルフカフェ方式を取り入れ、アート活動のための準備・交流の場を生み出しています。

今年度新たに開設したとしまアートステーション Y は、この場所に滞在し作品制作を行うアーティスト招聘プログラムを実施し、様々な人が集まる「まちのラウンジ」のような場を目指しています。

上池袋地域を中心に展開する「山田荘プロジェクト」を主催するクリエイティブユニット山本山田と協働し、豊島区上池袋にある木賃アパート山田荘内に開設しました。現在、アーティストの中崎透が滞在し、10 月～2 月にわたってプロジェクトを展開しています。



としまアートステーション Y

【会場】山田荘1号室、2号室 [東京都豊島区上池袋 4-24-1] ※オープンハウス等イベント開催時のみ一般開館

シンポジウム「都市のすき間—文化芸術が生まれる場所—」

としまアートステーション Y を拠点に中崎透が展開する「上池ホームズ計画」の紹介をはじめ、各地で空き家などの都市のすき間で文化芸術拠点を展開するゲストスピーカーとのディスカッションを通して、文化芸術を生み出す活動拠点が地域に与える影響やそこから生まれる可能性について考えていきます。

【日時】平成 27 年 1 月 25 日(日)15:00～17:30

【会場】豊島区民センター(コア・いけぶくろ)5 階 音楽室 [東京都豊島区東池袋 1-20-10]

【出演】山本山田(山田荘オーナー)、小川希(Art Center Ongoing 代表)、宮崎晃吉(建築家、HAGISO 代表)、中崎透(アーティスト)、佐藤慎也(一般社団法人オノコロ代表理事/日本大学理工学部建築学科准教授)、石幡愛(としまアートステーション構想事務局長、一般社団法人オノコロ)

○長島確のつくりかた研究所：だれかのみたゆめ

だれかのみたゆめ 展示と実演

アートプロジェクトなどを行う際に、すでにあるやり方で中身(コンテンツ)だけを新しく入れ替えるのではなく、つくりかた自体から考えられないか、との問題意識から、若手研究員を募集し、2013年にスタートしました。発足以来、都内某所でひっそりと活動を続けてきた「つくりかた研究所」はじめての公開イベントです。若手研究員が立ち上げた研究室・プロジェクトの中からいくつかの研究室と研究主任・中野成樹がリサーチに基づいた映像・音響作品、パフォーマンス等の展示と実演を行います。



【日時】12月20日(土)14:00~16:30、18:00~20:30

12月21日(日)11:00~13:30、15:00~17:30

【会場】コスタメサスタジオ WHITEBASE & BIRDHOUSE [東京都目黒区大橋 1-6-4 坂本ビル1F・2F]

○アートアクセスあだち 音まち千住の縁

イミグレーション・ミュージアム・東京

足立区千住地域を舞台に、アートを通じた新たなコミュニケーション(縁)のつながりを生み出すことを目指し、まちなかの担い手と連携しながら「音」をテーマとした多様なプログラムを繰り広げています。

日本で暮らす外国人の生活に根差した異文化を、現代アートの手法を通して紹介・共有するプロジェクト「イミグレーション・ミュージアム・東京 (IMM)」。美術家の岩井成昭が中心となって地域で展開。公募で集まった市民と外国の人々が、話し合いながらテーマを決め、制作を行ったそのプロセスと成果が作品として展示されます。外国の人々が語る日常の中の小さな違和感や驚きをお楽しみください。

●パフォーマンス・トークイベント

【日程】平成27年2月11日(水・祝) 時間未定

【会場】梅田教会 [東京都足立区梅田 7-19-22]

●展覧会

【日程】平成27年2月14日(土)、15日(日) 時間未定

【会場】日の出町団地スタジオ [東京都足立区日ノ出町 27 日の出町団地 1号棟 103]

○東京迂回路研究 今年度新規事業

東京迂回路会議—多様性と境界をめぐる

社会における人々の「多様性」と「境界」に関する様々な問題に対し、調査・研究・対話を通じて“生き抜くための技法”としての「迂回路」を探求するプロジェクトです。今年度は、対話型実践研究「もやもやフィールドワーク」と事例に学ぶトークシリーズ「迂回路をさぐる」の主に2つのプログラムを軸に展開しています。

障害、ケア、労働、住処、ジェンダーやセクシュアリティ、国籍……社会とそこにある諸問題を、多様性や境界という視点から捉え直すとき、見えてくるものとは？「東京迂回路会議」では、この1年間の活動報告と、様々な対話や表現が生まれる場に関わるパネリストの事例に学び、共に考えます。

【日時】平成27年1月17日(土)14:00~17:00

【会場】3331 Arts Chiyoda 1F コミュニティスペース [東京都千代田区外神田 6-11-14]

【出演】小山田徹(美術家、京都市立芸術大学教授)、坂上香(ドキュメンタリー映像作家、NPO out of flame 代表)、鈴木励滋(地域作業所カプカプ所長、舞台表現批評)、長津結一郎(特定非営利活動法人多様性と境界に関する対話と表現の研究所代表理事)

東京
迂回路
研究

○Art Bridge Institute 今年度新規事業

ブリッジトーク「ブリッジの作り方シリーズ」

「Art Bridge Institute」は、多摩美術大学教授の港千尋を筆頭に、アーティストの開発好明や様々なアートプロジェクトの現場に携わってきたメンバーで構成され、多種多様な分野や取組の間にブリッジをかけながら、人と人とのつながりをもてるようなアートプロジェクトの実施、研究を行っています。



「ブリッジトーク」では、11月～2月まで全4回のテーマを「ブリッジの作り方シリーズ」として、様々な分野のアートプロジェクトの主宰者をゲストに迎えてトークします。

ブリッジの作り方シリーズ③『プラス・アーツ編』

【日時】平成27年1月28日(水) 19:00～20:30(18:30開場)

【会場】東京文化発信プロジェクト ROOM302(3331 Arts Chiyoda) [東京都千代田区外神田6-11-14]

【出演】永田宏和(NPO 法人プラス・アーツ理事長、デザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITO 副センター長)、港千尋(写真家、著述家、Art Bridge Institute 代表)

○トッピングイースト 今年度新規事業

ほくさい音楽博

トッピングイーストは、音楽がまちなかでできることを検証し、拡張していくことを目指す参加型アートプロジェクトです。下町観光開発が盛んな東東京エリアにおいて音楽家や美術家と協業しながら活動を展開しています。

「ほくさい音楽博」は、葛飾北斎の生誕の地としても知られる墨田区周辺地域を拠点として、子供達に世界中の響きの美しい楽器やその背景にある文化に触れてもらい、練習を重ね、発表会を行うプログラムです。「スティーロパン」、「バロン&ガムラン制作」、「日本語かたり遊び」という3つの小学生チームを結成し、日々練習に励んでいます。



Photo: Kosuke Mori

【発表会】平成27年2月8日(日) 【会場】本所地域プラザ BIG SHIP [東京都墨田区本所1-13-4]

和田永「エレクトロニクス ファンタスティクス！」

ブラウン管テレビやオープンリール・テープレコーダーなどの古い電化製品をコンピューターで制御し、パフォーマンスを行ったり展示作品を作ってきた和田永が、東東京の人々を巻き込みながら新たな創作楽器を制作し、独自の奏法を編み出し、アンサンブルし、オーケストラを形成していくプログラム。そのスタートとして、公開の滞在制作を行います。和田が街を歩き、気になったマテリアルを集め、そこを訪れる人々と会話をしながら、少しずつ産み出されていく新たな楽器はどんなものになるのか、ご期待ください。



【公開日】平成27年2月14日(土)～3月1日(日)の土・日曜日

【会場】トッピングイースト [東京都墨田区本所2-10-7]

○TERATOTERA

TERATOTERA 祭り

JR 中央線高円寺駅～国分寺駅区間を中心とする杉並、武蔵野、多摩地域を舞台に展開する地域密着型アートプロジェクトです。今年度は、出会う、遭遇するという意味を持つ「Encounter -邂逅-」をテーマに掲げています。

今年度の「TERATOTERA 祭り」では、置かれた状況やその時々のお出合いに、臨機応変に反応して作品をつくり上げる作家たちが集結。アート展示や音楽ライブ、パフォーマンス、映像作品の上映などジャンルを越えた多彩なプログラムを開催します。



【会期】平成27年2月20日(金)～22日(日)

【会場】武蔵野芸能劇場(小ホール、小劇場) [東京都武蔵野市中町1-15-10] ほか、三鷹駅北口周辺各所

【参加予定アーティスト】

アート展示: 泉太郎、太田祐司、出津京子、東野哲史、山本篤、和田昌宏 ほか

映像作品上映: 泉太郎、井出賢嗣、大木裕之、小鷹拓郎、鷲山啓輔、柴田祐輔、鈴木光、地主麻衣子、山本篤、和田昌宏

ライブ: ジム・オルーク、巻上公一

パフォーマンス: 指輪ホテル

○小金井アートフル・アクション!

地域プロジェクトのしくみ研究会

～アートプロジェクトを通して「つながりのしくみ」の可能性を考える～

小金井市をフィールドに、市民がアートと出会うことで、心豊かな生き方を追求するきっかけを作ることを目的として活動しています。

近年盛んに行われている地域アートプロジェクト、その概要はインターネット等で簡単に知ることができますが、そのプロジェクトが実施されるようになったきっかけや運営の仕組みなどが重要であり、その背景を知り・学ぶことで多くのことを得ることができます。この研究会では、12月～3月にかけて4つのトークセッションを行い、施設や団体の連携や協働に留まらず、人をつなぐこと、アイデアをつなぐことも協働や連携ととらえ、公共施設の相互関係、公共的なアートプログラムの新しいあり方を見据えつつ、より創造的な活動に発展させるための連携の可能性を探ります。

【期間】平成26年12月～27年3月(計4回)

【会場】小金井市民交流センター マルチパーパスD(スペースN) [東京都小金井市本町6-14-45]

○東京スープとブランケット紀行 今年度新規事業

「対談紀行」

演出家・劇作家の羊屋白玉を中心に生活圏に起こるものごとの「おわり」と「はじまり」を追求するアートプロジェクト。このプロジェクトは「東京一箱」「江古田スープ」「青ヶ島ブランケット」「対談紀行」の4つから成り、江古田周辺や日本一人口の少ない村である青ヶ島をリサーチしています。3月には羊屋白玉がホストを務め、様々なゲストとともにトークする2回目の「対談紀行」の開催を予定しています。



青ヶ島・神子の浦にて

【日時】平成27年3月8日(日)14:00～(予定)

【会場】3331 Arts Chiyoda 1F コミュニティスペース [東京都千代田区外神田6-11-14]

○Tokyo Art Research Lab (TARL)

「文化とクリエイティブ・コモンズの新しい関係」

TARLはアートプロジェクトの現場の課題に対応したスキルの提供や開発、人材の育成を行うことによって、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指す、リサーチ/人材育成プログラムです。

社会における情報のオープン化が進む昨今、アートプロジェクト等のアートの現場や文化機関では、このオープンの流れをどのように捉え、取り入れていくべきなのでしょう。この講座では先行事例紹介やワークショップを交えながら、ゲストとともにオープンの潮流を検証し、文化の未来像を考えていきます。



【日時】平成27年1月14日(水)、1月21日(水)、2月4日(水)19:00～21:00

【会場】東京文化発信プロジェクト ROOM302(3331 Arts Chiyoda) [東京都千代田区外神田6-11-14]

【テーマ・出演】

- ・第1回 THEORY—オープン化する世界:ドミニク・チェン(企業家、研究者、クリエイティブ・コモンズ・ジャパン理事)、水野祐(弁護士、クリエイティブ・コモンズ・ジャパン理事)
 - ・第2回 WORKSHOP—CCの活用:水野祐(弁護士、クリエイティブ・コモンズ・ジャパン理事)、森隆一郎(東京文化発信プロジェクト室広報調整担当課長)
 - ・第3回 VISION—未来にむけて:齋藤精一(株式会社ライゾマティクス代表取締役 Creative / Technical Director)
- ※ファシリテーター:林千晶(クリエイティブ・コモンズ・ジャパン アドバイザリーボード、株式会社ロフトワーク代表取締役)、森司(東京アートポイント計画ディレクター)

●東京文化発信プロジェクトとは

東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が、芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施している事業です。多くの人々が文化に主体的に関わる環境を整えるとともに、フェスティバルをはじめ多彩なプログラムを通じて、新たな東京文化を創造し、世界に発信していきます。

<http://www.bh-project.jp>

<本件に関するお問い合わせ先>

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化発信プロジェクト室 広報担当:森(隆)、浅野
TEL 03-5638-8805 FAX 03-5638-8811 E-mail press@bh-project.jp